

# ベンチャー企業のビジネスモデルはリーダーの人格形成によって実を結ぶ

福岡ベンチャークラブ 会長 小山田 浩定氏 Special Interview

中小・ベンチャー企業の事業拡大や新事業を創出していく福岡ベンチャークラブ会長を務める小山田浩定・総合メディカル株式会社相談役は、40年前に元同僚と7人で創業して、グループ従業員5700人強の東証一部上場企業に育て上げた実績を持つ。ベンチャー企業が事業を拡大・発展させていく上で何が重要なのか、小山田会長に聞いた。

**ビジネスモデルとともにベンチャーに必要なモノは何か**

いま、福岡は県・市ともにベンチャー企業への支援に熱心です。いろいろな集まりが開催されて、投資が得られるチャンスもあるなど、ビジネスを立ち上げて相当なスピードで進めていくことができるのは、非常に良い状況だとみています。

近年のベンチャー企業の方々にはよく勉強されており、しっかりとしたビジネスモデルをお持ちですが、企業経営の要諦は、その他にもあります。経営者が社員とともに現場で汗を流し、お客さまの反応も直にわかる創業期においては、ビジネスモデルの勢いで一気に販路を開拓・拡大でき、事業を成長させていくことができます。

しかし、ある一定規模以上になると、組織として管理していく必要が生まれ、社員の能力や特性を見抜いて、責任者を決める人物眼も必要となります。また、増えた社員をまとめる能力

や、それに耐え得る人格も求められます。

ビジネスモデル中心の創業期には気づきませんが、事業が拡大していくと、経営者が自らの人格を磨き上げていき、「リーダー」として、どうあるべきか、「社員をいかにたばねて、企業としての一体感をつくるか」ということは経営者にとって、大変重要な仕事になっていきます。

**7人で創業して40年、グループ従業員5700人強へ**

40年前に元同僚7人で創業した総合メディカルは現在、グループ従業員数で5700人を超える規模になっています。私自身、創業期にリスクを取って助けていただいた方々への感謝の気持ちは、いまでも強くあります。そして、「会社は預かり物である」という思いで創業以来、企業経営に努めてきました。

会社には、それぞれ誕生した理由や背景、創業時の精神があり、経営上で問題が起きた場合、

その原点に立ち戻って、物事を判断して、行動していきます。当社では、クリーン・フェア・オーブンの精神で臨んでいます。

マーケティングの基礎である『MVV(ミッッション・ビジョン・バリュー)』のうち、「会社は、何のために世の中にあるのか」というミッションが、もともと大事だと考えます。ビジネスでよくいわれる、売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よしの中でも世間よしを最優先になります。

当社では、損得だけでなく、人間としてどうあるべきか、社会的に正しいか、道徳を守っているかで考えています。社内的には、「正か・邪か」「善か・悪か」「みんなのため社会全体のためになるか」という基準で5年後・10年後も見据えて判断してきました。

**古典に学んだ企業経営の要諦**

子どもの頃、大人らが集まると、日常会話の中で古典の言葉がよく出ていました。われわれの世代は、そういう時代に生まれて、またそのような土地柄で育ったので、古典の言葉に自然と親しんできました。

会社経営で問題が起きた場合、私は問題の整理をするため

ことを確信できました。また、社是・社訓に続いて作成した「わたしたちの誓い」は、大手証券会社の福岡支店長に気に入っていただき、その支店で使われています。このような価値観の響き合う方々との出会いは有り難いことだと感じています。

**経営者は今後いかに生きるべきか**

2011年にデューク大学のキャシー・デビッドソン教授が、「今年、アメリカの小学校に入学した子どもたちのうち、65%が大学卒業時、いま存在していない職業に就く」という予測を発表して、大きな話題を呼びました。たしかに情報革命が進む中で、私たちの働き方は大きく



福岡ベンチャークラブ総会後のFVM大賞授与式・交流会であいさつをする小山田会長



**小山田 浩定** 福岡ベンチャークラブ 会長  
総合メディカル株式会社 相談役

1940年9月29日に東京都で生まれて、1945年鹿児島県に疎開。その後、父の出身地である宮崎県で育つ。宮崎県立都城泉ヶ丘高校卒。三共に入社後、日医リース勤務を経て、1978年日本メディカル・リース(現総合メディカル)を元同僚と7人で創業して専務取締役役に就く。1980年代表取締役専務、1990年同社長、2004年同会長、2012年取締役相談役を歴任して、2017年相談役。この間、2000年東証2部上場、2001年東証1部指定換え。2009年9月福岡ベンチャークラブ会長に就任。

<p><b>わたしたちの誓い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちは、この一度しかない、かけがえのない人生を価値高く生きます。</li> <li>・常に正しい考え方を求め、感謝の心を持ち、勤勉、謙虚、正直、質素、素直で誠実な、自立した人間になります。</li> <li>・わたしたちの仕事が社会の発展、そして多くの人々の生活の向上に貢献することを確信し、責任を持ち、効率のよい仕事を行います。</li> <li>・よいことはすぐやります、悪いことはすぐやめます。</li> </ul>	<p><b>社 是</b></p> <p>わたしたちは、よい医療を支え、よりよい社会づくりに貢献します。</p> <p><b>社 訓</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一、すべての人々にとってかけがえのない、価値ある企業になります。</li> <li>二、取引先のよきパートナーとして、その信頼に応えます。</li> <li>三、社員の豊かな人生を願い、社員とともに成長します。</li> <li>四、個々の社員の人格、能力、見識を高め、企業人として社会人として、責任を果たせる人間づくりをします。</li> </ol>
---	--

総合メディカル株式会社の「わたしたちの誓い」と「社是・社訓」

そうでない普通の人は小人とされます。その君子と小人の差は、志の差です。「大器は人を求め、小器は物を求める」という言葉があります

が、君子は、「世の中をこのようにしたい」「組織をこのように変えたい」という志をしっかり持っている人で、同じような志を持つ人間をいつも求めていきます。創業して以来、個人的に一番うれしかったのは、会社10年目に社是・社訓をまとめたことです。10カ月掛かりで私がつくったのが、当社の社是・社訓です。その社是・社訓を応接間に掲げていたところ、取引銀行の支店長がニコニコと笑顔で「良い社訓だ」と褒められたのが一番うれしかったですね。これまでの考え方や生き方が間違いない

変わっていくわけなので、何となくわかるような気がします。

今後、社会構造が劇的に変わろうとしている中、いろいろな変化が起きていくでしょう。このような状況下、人生観や志の整理ができていない人は、結果的に自分の気分や都合、損得、有利・不利などの目先で日々、判断してしまいます。

しかし、志を持った人は、「二度しかない人生をどのように生きるべきか」を考えながら、しっかりと生きていくことができます。ビジネスを通じてたくさんのことを学び、人格を高めて、誰からも「また、会いたい」と思ってもらえるような存在になって、いずれはビジネスを越えて、社会に貢献していければと、私自身も思っています。

## 福岡ベンチャークラブ

「福岡から世界的企業を創出する」ことをビジョンにかかげる福岡ベンチャークラブは、中小・ベンチャー企業の事業拡大や新事業の創出などを目的とした会員組織である。

IPO(新規株式公開)やグローバル展開などをテーマとした講演会をはじめ、IPOを目指す意欲的な経営者を対象とした実践的な起業家支援プログラム、先輩経営者や起業家仲間との学びや交流する場を設けて、会員企業のビジネス拡大を支援している。会員企業は、2017年6月30日現在で299社・団体。

福岡ベンチャークラブ  検索

[http://www.fvm-support.com/venclub\\_top](http://www.fvm-support.com/venclub_top)

【事務局】福岡県ベンチャービジネス支援協議会  
ベンチャーサポートセンター  
(福岡県商工部新事業支援課)  
電話:092-725-2729